

広島市植物公園 見どころ案内

キジュ (ニッサ科)

中国原産の20~25mにもなる高木で、一本一本はバナナのような形の実が連なり、花火のような形になります。しかし、毒性が強く、食べることはできません。

ダルマガク

(キク科)

日本海側の海岸の岩場に生える多年草です。葉はピロード状の毛で覆われていて、こんもりとした株になり、乾燥や強い風に耐えます。

フジバカマ(キク科)

秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲いています。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。10月初めからアサギマダラ(渡り蝶)が飛来しています。

バラ園(バラ科)

四季咲き大輪や中輪房咲き品種の秋の開花シーズンです。秋の冷涼な空気の中、花色も冴え、香りもお楽しみいただけます。

キク展

~11月12日(日)

広島市の友好都市である中国の重慶市から寄贈された中国菊のコレクションを中心に、日本菊の展示もあります。

シクラメン

ヘデリフォリウム

(サクラソウ科)

地中海沿岸と小アジア原産の球根草で、秋に花が先に咲いて、葉は後から出てきます。果実の柄がクルクル巻いている姿が面白いです。

ベニマンサク

(マンサク科)

数少ない、秋遅くに咲く花木の一つで、濃い赤色の花が葉陰に隠れるように咲きます。紅葉と花を同時に楽しむことができます。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープン

は平成30年春ごろです。(予定)

サルビア・マドレンシス

(シソ科)

メキシコ原産のサルビアで、別名イエローマジスティと呼ばれています。秋遅くまで花を楽しむことができます。

ガーデニングコンテスト作品展

~11月5日(日)

コンテストに応募・出品いただいたコンテナガーデンとハンギングバスケットを展示しています。

特別企画展

「毒と薬は紙一重」

~11月30日

用法や用量によっては毒にも薬にもなる植物を、写真やパネルで紹介しています。

